

# 大橋川景観アドバイザー会議

## 設 立 趣 旨

大橋川は、宍道湖と中海の二つの湖を連結し、宍道湖から松江市の中心街を貫流しながら中海へと流れ込む一級河川です。大橋川の普段の流れは穏やかで、宍道湖や、松江堀川朝酌川などの周辺の支川と相まって「水の都松江」を象徴する水辺景観を形成しています。

大橋川改修は、平成16年12月に計画の骨格となる「大橋川改修の具体的内容」が公表されたのち、平成17年11月に設置された「大橋川周辺まちづくり検討委員会」により景観、水辺の利活用、環境、治水などの多様な視点から大橋川周辺のまちづくりに関する検討がなされ、「大橋川周辺まちづくり基本方針（平成18年12月）」及び「大橋川周辺まちづくり基本計画（平成21年3月）」がとりまとめられました。

大橋川の整備にあたり、これらの計画を踏まえ、国土交通省は河川法に基づく斐伊川水系河川整備計画を、松江市は景観法に基づく松江市景観計画を変更し大橋川景観形成計画を策定し、水の都松江にふさわしい大橋川の良い景観を保全・創造・継承していくこととしています。

出雲河川事務所では大橋川改修にかかる河川構造物等の設計・施工に際して景観上の専門的な立場からの意見・助言を頂くことを目的に有識者からなる「大橋川景観アドバイザー会議」を設立するものです。